

R O S É

ロゼ

文化情報誌 ロゼ
ROSÉ THEATRE
ART INFORMATION OF FUJI CITY
CULTURE MAGAZINE ROSÉ

VOL. 36 2001



ROSE
THEATRE

ロゼ

富士市文化情報誌 ロゼ 2001年7月発行(第36号)
発行 (財)富士市文化振興財団 〒416-0953 富士市蓼原町1750番地 TEL(0545)60-2510
企画・編集・製作 (財)富士市文化振興財团事業課企画広報係 アドスペース エーピック株式会社



2001 8.17 FRI
ROSE THEATRE MINI hall

知らないかったら、知ろうとする ことが大切

実は「美空ひばりさん」ってよく存じあげてなかつたんです。突然レコード会社から持ちかけられた話で、私にとつて「演歌」はあまり縁のない世界でした。始め「なぜ私が演歌やらなくちゃならないの?」なんて、美空ひばりさんの曲自体知りませんでしょたので、せっかくのお話でしたが、この企画はお断りしたんです。

そうしたらまた依頼の話がありまして、今度はすぐにお返事するのも失礼なんで曲を聴いてからと、美空ひばりベスト集を聴きました。そうしたら「やっぱりだめだ」と思いました。『悲しい酒』とかセリフが入

るディレクターの一言で心が動いたんですね。

ただの「食わず嫌い」だつたらせつかくの話ももつたないなと思います。

幸田 聰子

ヴァイオリスト

私の横にはいつもヴァイオリン がありました。

ついて、絶対に私のヴァイオリンと合わないなって、再度お断りしました。これで別の企画になるのかなって思って安心してたら、またお話をきましてびっくりしました。

今考えるとこの企画スタッフは、私本人が自覚していない何かを見つけ出してくれたんだ、と思いました。

このことがきっかけで今ではクラシックでも知らない曲を演奏するときは、作者の意図することや、曲の背景にあるものなど、考えながら楽譜を勉強することにしています。

「知らないかったら、知ろうとする努力が大切!」と、あ

クール出場も考えませんでした。

そんな私にステージのすばらしさを教えてくれたのはお客様でした。

大学を卒業してから大阪に帰つて何を

しようかという時、神戸の室内合奏団のオーディションを受け、演奏会に出るよ

うになりました。すると演奏会にはお金

を払つて聴きに来てくださる方がいることに気づき、その時はじめて演奏することに対しても勉強が必要なんだと実感しました。

それからもつと自分の演奏を磨こうとレッスンを通していろいろな人とめぐりあう中、「CDデビューしませんか?」と、話があつたのです。

「え~わたしが…って」感じで。

各地での演奏会ではおもしろい ことがいっぱいあるんですね。笑い 話です。

ヴァイオリンとの出会いは、私がまだ母

のおなかにいるときからでした。両親は子

供が産まれたらヴァイオリンを弾かせよ

うと計画していたらしく、ひどい話ですよ

ね。私はヴァイオリンでしか、自分を表現

することができないで育つてきちゃつた

んですね。いつもヴァイオリンがついてい

ました。ですからヴァイオリンの魅力と聞

かれてもこれといって無いんです。私にと

つてヴァイオリンはすべてですし、音楽を

勉強することが当然のことと思つていま

したから、それ以上の欲も無く留学やコン

クしかくつて。(笑)

それとか、福井県の鯖江市に行つたとき、

地元のおいしいものを食べたいつて、鯖江

ならやつぱり鯖だと思い食べました。そし

たそれが“あたつて”ホテルで一晩苦

しみました。でも辛かつたですが、鯖江

で鯖にあたつたつてひとりで考えたらお

かしくつて。(笑)

今後の抱負というか、希望ですが活動してみたいと思つているのは、アジアなんですね。自分も興味がありますし、アジアはクラシックだけでなく、古くからの民族音楽があります。そんなアジアの音楽を見つけながら、いますぐどうこうではなく、じつくり時間をかけて取り組んでみたいと思います。

「抱負」は三日先以降のことは、あまり考

えないでの、へへへ!

話があつたのです。

「え~わたしが…って」感じで。

アジアを舞台に活動したい ですね

地方での演奏会のとき、譜めくりは地元の人にお願いするんです。その会場でも譜めくりの方を頼んだんですが、その方はずっと座つたままで、仕方なくピアニストが譜面をめくると、すーっと立つてめぐつた後の譜面を整えるんです。その方は譜めくりつてめくつた後に譜面を直すものだと思ってらしたみたいで。(笑)

でもね。その方とても良い方で演奏終了後「とてもすばらしかったです」つて、一度も譜面めぐらなかつたのに。(爆笑)

時間余り演奏曲を分かち合い、感動を共有したいと思います。

今からとても楽しみにしています。

わたくし松田聖子フリークなんです。
カラオケはもちろん、コンサートにも出かけます。
次の企画は「松田聖子・オン・ヴァイオリン」なんて最高!



「芽キャベツがほしいもつ一枚だけ」公演レポート

観客を捕らえる プロの技



2001年6月27日(水)

9:00 楽屋準備

出演者・スタッフのためのケータリングの準備がおこなわれる。間もなく戦場と化す舞台裏、マランソンランナーの様に全力疾走する舞台関係者の給水所である。

12:00 舞台セッティング

舞台がフラットになると次から次へ運び込まれる大道具類、手慣れたスタッフにより見る見るうちに舞台セットが組まっていく。

14:30 音出し

音響の音の大きさやホール内の響きを確認する。

11:00 仕込み

広い舞台にスタッフの手が入る。真っ先に取り掛かる照明の仕込み。五百ワット・キロワットスポットライトなど百二十器以上、照明器具がセットされていく。

13:00 照明フォーカス合わせ

舞台セットの明かりを舞台の定位置へ合わせ大きさを決める。

14:00 舞台完成

一寸の無駄もなく配置された舞台セット。一時の静寂、舞台は出演者を静かに待つ。

15:00 テクニカルチェック

照明・音響装置が仕込まれると、本番の作動チェックがおこなわれる。一秒に賭けるプロフェッショナルの技を忠実に伝えるもまた信頼のプロ機器群である。



17:30 開場準備

開演が刻々と迫る。会場ホワイエには客席担当のホールスタッフが集合した。

本日の公演は満席、車椅子利用者、託児室利用の確認事項が報告される。満席のお客様にすばらしい

公演をご覧いただるために、きめ細やかな配慮が必要される。

心に残る感動をお贈りするため。



18:30 開演

満席の場内に「本ベル」が鳴り響く。

会場のざわめきが静まり来る。場者は固唾をのむ。

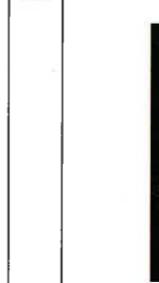
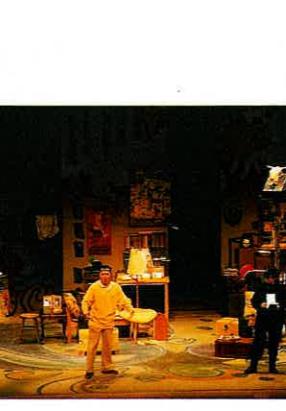
第一部　トークショー



20:30 第一部 「芽キャベツがほしいもう一度だけ」本公演

会場に笑いと涙を残し「芽キャベツがほしいもう一度だけ」ロゼシアター公演が幕を閉じた。観客ひとりひとりが

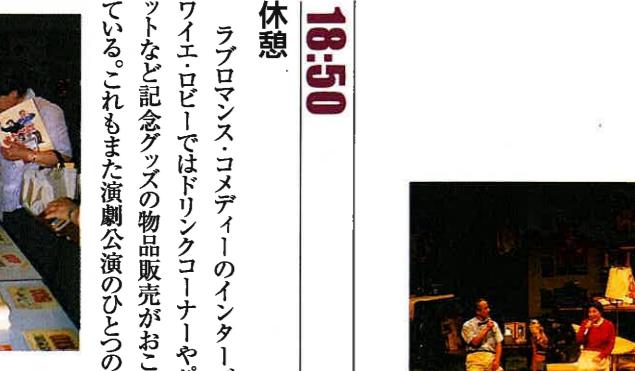
覚めやらぬ歓声と舞台の余韻を胸に抱いて会場を後にする。



18:00 開場

否応でも期待と興奮を震え起こされる。ホールスタッフの「お待たせいたしました。開場でござります。」の声に胸の高鳴りは頂点となる。

夏の夕陽が会場の扉を開けた。



18:50 休憩

ラブロマンス・コメディーのインターバル。ホワイエ・ロビーではドリンクコーナーやパンフレットなど記念グッズの物品販売がおこなわれている。これもまた演劇公演のひとつの楽しみ。



21:30 撤収・搬出終了

舞台はいつも通りの静けさにもどる。七百余名の来館者に感動を伝えることができただろうか?一日の公演を成し遂げたスタッフ達は、次の公演の準備に取り掛かる。

～ふじ少年少女芸術劇場～

小学生招待 コンサート

2001.7.4

授業では教えることのできないコンサートの雰囲気、
CDでは聞くことのできない演奏家の息遣い、
富士市内の小学校6年生2800人がオーケストラの
感動を目と耳に残しました。



指揮：堤俊作 静岡交響楽団



- 学校で聴いた「アルルの女」と音がぜんぜん違う。
- スッペの「軽騎兵」はディズニーの映画に出てくるのでとても楽しかった。
- 指揮者のタクトがなめらかだった。
- めざまし時計の曲が楽しかった。
- 大だいこ・コントラバスに興味をもった。
- またオーケストラを聴きたいと思った。



天間小学校



富士第二小学校



富士中央小学校



伝法小学校



岩松小学校



富士第一小学校



富士南小学校



須津小学校



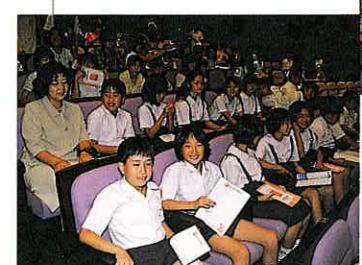
富士見台小学校



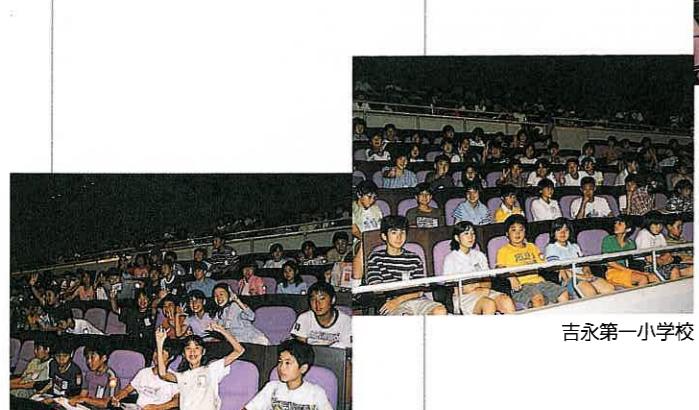
今泉小学校



原田小学校



東小学校



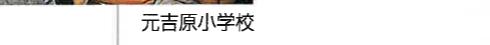
吉永第一小学校



吉原小学校



大渕第二小学校



元吉原小学校



神戸小学校



岩松北小学校



青葉台小学校



田子浦小学校



大渕第一小学校



ROSE 5

モーツアルト交響曲シリーズ Vol.2

川崎 優 (富士市文化振興財団芸術委員)

永遠の天才に捧ぐ



モーツアルトの心の叫び第四十番

好

評論に行われた「モーツアルト交響曲シリーズ第一弾」に続き「交響曲シリーズ第二弾」が九月二日に行われる事になりました。

天才モーツアルトの膨大な作品の中から、今回も選りすぐれたモーツアルトの名曲が演奏されることになり、この度のシリーズ第二回はモーツアルトが一七八八年にウイーンで作曲した不朽の名作である三大交響曲の中から交響曲第四十番ト短調が取り上げられます。

モーツアルトの驚異的な天才ぶりについては前回ご紹介しましたが、この三大交響曲の作曲過程において彼が多大な影響を受けた古典派の先駆者ハイドンやその時代背景について申し上げましょう。

モーツアルトは夭折したにも関わらず偉大なそして膨大な名作を残した影には、ウイーンという音楽史上特筆すべき社会環境がありました。そしてその中でも特筆すべき事はハイドンが開拓していく純粋音樂にモーツアルトは刺激され傾倒した事でしょう。そうした中で作曲された交響曲第四十番ですが、この曲を含む三大交響曲は先駆者の影響からなれて完全にモーツアルト自身のものとして完成されたものです。この曲の真髄であるモーツアルトの心からの叫び、そして天上

からの慈愛に満ちた歌声の素晴らしさは言葉では現すことのできない、偉大な音樂作品の真骨頂でしょう。

この交響曲の第一楽章モルト・アレグロは、悲哀に満ちた、またモーツアルトの内面的悲しみの現れであると一般に解釈されています。

されていく傾向がありますが、勿論どのように鑑賞するかは聴者の自由ですが、しかし経済的に逼迫し、また間もなく訪れるであろう死の予感のなかにも関わらず、人々を至福の境地に誘う究極の美を我々に与えてくれた雄々しくも素晴らしい作品と見ることも出来るのではないかと感じます。

これがモーツアルト若手三十二才の時の作品とは信じられないような悲哀を乗り越え生命力溢れたなんと偉大な作品でしょうか。私はどちらかというと後者を選びたいと思いますが、如何なものでしょうか。これがモーツアルト三千二百才の時の作品と見ることも出来るのではないかと感じます。

続く第二樂章、三樂章、四樂章とそれぞれこの「フルートとハープのための協奏曲」はパリのギース公爵令嬢の結婚式で公爵自身のフルートと令嬢のハープで演奏されるために作曲されました。このパリ滞在中のモーツアルトは冷たいパリの音楽ファンにあまり歓迎されず、傷心の日々を送っていましたが、その様な環境とは裏腹に、彼はこの華やかで、そして結婚式に相応しい協奏曲を作曲しています。

機会音楽と云われる「セレナータ・ノットゥルナ」や「フルートとハープのための協奏曲」と、そして彼の偉業である3大交響曲の中の第四十番と、幅広いモーツアルト作品が堪能できるモーツアルト交響曲シリーズ第二弾を大いに期待したいものです。

モーツアルトがザルツブルクで二十歳の時に作曲した「セレナータ・ノットゥルナ二長調」は二つの弦楽小オーネ

七

貴族社会のためのセレナード

結婚式での協奏曲

モ

ーツアルトはフルートのために三

つの協奏曲を作曲していますが、この「フルートとハープのための協奏曲」はパリのギース公爵令嬢の結婚式で公爵自身のフルートと令嬢のハープで演奏されるために作曲されました。このパリ滞在中のモーツアルトは冷たいパリの音楽ファンにあまり歓迎されず、傷心の日々を送っていましたが、その様な環境とは裏腹に、彼はこの華やかで、そして結婚式に相応しい協奏曲を作曲しています。



PROFILE
川崎 優
Kawasaki Masaru

1949年東京芸大講師、1956年文部省主催芸術祭にて文部大臣作曲賞及びNHK協会長賞、ユネスコ研究員として米国留学、神戸国際フルート作品作曲コンクール運営委員長、静岡国際青少年音楽祭音楽監督、モスクワ音楽院・常葉学園短期大学セミナー委員長。作品・万国博覧会協会委嘱「万博マーチ」、広島市委嘱「祈りの曲・哀悼歌」他多数
1996年富士市制30周年記念・富士青少年国際音楽祭音楽監督
現在、富士市文化振興財団芸術委員、常葉学園大学名誉教授・日本現代音楽協会名譽会員

~オール モーツアルト プログラム~

指揮／堤俊作 管弦楽／ロイヤルチェンバーオーケストラ

セレナード《セレナータ・ノットゥルナ》 二長調 KV.239

フルートとハープのための協奏曲 八長調 KV.299

交響曲第40番 ト長調 KV.550

9月2日(日) 19:00 開演



INFORMATION

ROSE THEATRE · EVENT CHECK LIST

2001年8月・9月・10月の催し物のご案内
財団自主事業をはじめ、一般貸館事業を含めたスケジュールです。

日曜日	ホール	イベント
4 土 大	静岡県吹奏楽コンクール中学校の部	B編成の部
5 日 大	静岡県吹奏楽コンクール中学校の部	A編成の部
6 日 小	八十の会	サロンコンサート
7 火 小	原田一雄プロデュース公演「明日は風のない日」★	
8 水 大	富士市青少年会議	
9 日 中	平成13年度富士市建設業者研修会	
10 日 小	原田一雄プロデュース公演「明日は風のない日」★	
11 木 大	教育講演会	
12 金 中	ピアノ発表会(大石)	
13 土 大	静岡県立富士富士宮地区総合学科高校(仮称)学校説明会	
14 木 中	第42回静岡県吹奏楽コンクール高校・大学・職場・一般の部	
15 土 小	第6回「平和へのメッセージ」	
16 日 大	第42回静岡県吹奏楽コンクール高校・大学・職場・一般の部	
17 火 大	グチ裕三2001年ファミリーコンサート★	
18 水 中	平成13年度富士市戦没者追悼式	
19 木 大	第25回東海北陸公立中学校英語教育研究会静岡大会	
20 土 小	幸田結子ヴァイオリン・リサイタル	
21 日 中	ジャズダンス発表会	
22 木 小	ピアノ発表会(渡辺)	
23 土 中	あざれ育てイストラーワードス&事業セレブコンサート★	
24 木 小	テノールの貴公子秋川雅史コンサート	
25 土 大	ニッセイファミリーシャー	
26 土 小	第6回マーガレットコンサート	
27 日 大	富士市青少年の船事後研修会	
28 中	藤の会 若藤会 おさらい会	
29 小	ピアノ発表会(藤田)	
30 火 小	第37回仲澤裕恵門下生ピアノ演奏会	
31 水 小	秋の交通安全運動研修会	
32 金 小	国立音楽大学富士・富士宮地区同窓会 謹善演奏会★	

展示室のご案内

会期	催し物	会期	催し物
8/2~5	モモクリテン2001(果-SOU-)	9/20~24	油絵展示
8/2~5	アトリエバセリ作品展	9/20~24	ステージ21写真展
8/10~15	2001平和のための富士戦争展	10/4~7	花壇一門自詠歌書展
8/16~19	食中毒防止ポスター展	10/10~14	第35回富士市総合文化祭 前期展示
8/30~9/2	第35回富士市展 第3期(絵画・彫刻)	10/17~21	第31回富士市福祉展
9/5~12	日本の滝一清風涼灑	10/24~28	第35回富士市総合文化祭 後期展示
9/15~16	富士市・小中学校科学作品展	10/29~11/4	富士山写真展
9/15~16	第36回富士市発明くふう展	10/29~11/4	ペーパーフェア

*一般貸出事業については、平成13年7月中旬までの受付分です。 ロゼシアター主催事業
各ホールでのイベントや展示などの日程は変更になる場合があります。 ★ロゼ・チケットセンターでもチケットを扱っています。



ンバー・オーケストラ公演に出演。

菊地幹代さん(静岡市在住)
東京芸術大学卒業。現在「ザ・フィルハーモニア東京」に在籍、今年8月には長野国際音楽祭に参加。9月2日 ロイヤルデ

楽器(表紙) ピオラ

アーティストが注目される。次年度事業計画にも熱が入る毎日。ね、アフリカはアジアじゃないよね。アジアのハルビション

近代、世界のアジアを舞台に活躍する

期待は大きい、「来年もあるぞ」。いや、日があるさ!」

●若い僕らにや夢がある
MAYコンサートの担当を前田者(ナ

OKちゃん)から受け継ぎ早二年目、今年の出演者も魅力的な方ばかり、前田のアプローチは定かでないが

期待は大きい、「もうちょっと美酒も文化だ焼き芋だ」「もちろん美酒も

ロゼネット

チケットのお申し込み・お問い合わせは

ロゼ・チケットセンター

☎ 0545-60-2500 受付時間9:00~19:00

ロゼシアターホームページアドレス <http://www.city.fuji.shizuoka.jp/rose/> e-mail rose@city.fuji.shizuoka.jp
みなさんとロゼを結ぶホットライン! イベント情報・館内情報・トピックスなど盛りだくさんの内容です。

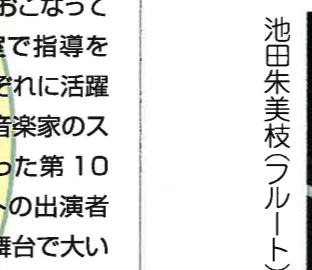
フレイガイド

- すみや 富士本店 ☎ (0545) 63-2233
- カワセ書店 鷹岡店 ☎ (0545) 71-9592
- ユニーサービスカウンター 吉原店 ☎ (0545) 51-9027(代)
- 富士中央店 ☎ (0545) 60-4567
- 富士宮・宮原店 ☎ (0544) 24-7160
- 吉原店 ☎ (0545) 51-5227
- 富士市民センター ☎ (0545) 61-6262
- クンザワ楽器富士店 ☎ (0545) 52-1586
- 三島:g(アイ・ジー) ☎ (0559) 73-3003
- ラ・ホール富士 ☎ (0545) 53-4300
- マルサン書店御見録館 ☎ (0559) 63-0350
- 谷屋書店富士松岡 ☎ (0545) 60-1150

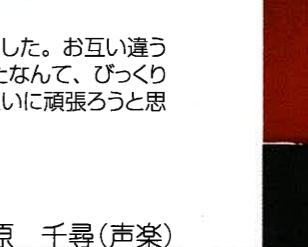
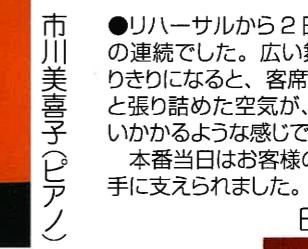


21世紀に翔び立つ ヴィルトゥオーゾたち

2001 MAYコンサートが5月20日に開催された。今回は第10回目をむかえる記念公演となった。10thコンサートの出演者は9名、ステージでは若き演奏家たちの力強い演奏が披露された。



竹田旬(声楽)



庄司淳子(ピアノ)

仲澤千恵(フルート)

市川美喜子(ピアノ)

日高紀子(フルート)

池田朱美枝(フルート)

山崎真奈美(フルート)

ときめき
「わくわく」通り

期待と不安と緊張の連続

だった9名の出演者たち、過去の出演者は現在海外に留学した者、オーケストラに所属し演奏活動をおこなっている者、音楽教室で指導をおこなう者、それぞれに活躍しています。新人音楽家のスタートラインを切った第10回MAYコンサートの出演者たち、21世紀の舞台で大いに活躍を期待したいものです。